

○水生生物モニタリング調査結果一覧（新田川E）

＜新田川E 水質底質採取項目＞

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
E-2 a	○	○	○	○	○	○

＜新田川E 現場測定項目＞

項目	調査緯度・経度		調査日時			水質					底質		その他	
	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)	水温 (℃)	泥温 (℃)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透視度 (cm)		
E-2 a	37.6640°	140.9447°	R1.6.7	10:40	10:20	20.8	21.4	シト	2.5Y3/2	植物片	0.50	>50		

＜新田川E 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質＞

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
E-2 a	37.6640°	140.9447°	R1.6.7	10:40	6.9	1.1	4.1	10.1	10.6	0.06	1.4	10	9.9	0.0065	0.078	0.0022

注) N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

＜新田川E 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質＞

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E <sub>N.H.E</sub> (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm <sup>3</sup> )	粒度組成							Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)	
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)				最大粒径 (mm)
E-2 a	37.6640°	140.9447°	R1.6.7	10:20	7.2	263	63.0	11.4	42.6	2.536	2.4	6.2	9.6	17.1	35.3	29.4	0.029	4.8	490	6500	1.1

注) N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

＜新田川E 分析項目 水生生物＞

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム (Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137	
E-2 b	新田川本流	37.6635°	140.9452°	R1.6.3	藻類・植物	—	—	—	—	河床付着物 (藻類を含む)	—	0.011	—	—	—	294	24	270	—
					藻類・植物	接合藻	ホシド <sup>ロ</sup>	ホシド <sup>ロ</sup>	<i>Spirogyra sp.</i>	アオミドロ属	—	0.34	—	—	33.6	2.6	31	—	
					節足動物	昆虫	カゲ <sup>ロウ</sup>	チラカゲ <sup>ロウ</sup>	<i>Isonychia valida</i>	チラカゲロウ	345	0.025	幼虫	—	—	100.7	6.7	94	—
					節足動物	昆虫	トビ <sup>ケラ</sup>	ヒゲナガ <sup>カワトビケラ</sup>	<i>Stenopsyche marmorata</i>	ヒゲナガカワトビケラ	136	0.021	幼虫	—	—	99.9	7.9	92	—
					節足動物	昆虫	トンボ <sup>ゴ</sup>	エゾ <sup>トンボ</sup>	<i>Macromia amphigena amphigena</i>	コヤマトンボ <sup>ゴ</sup>	16	0.0054	幼虫 (ヤゴ)	—	—	128.3	8.3	120	—
					節足動物	昆虫	トンボ <sup>ゴ</sup>	オニヤンマ	<i>Anotogaster sieboldii</i>	オニヤンマ									
					節足動物	昆虫	トンボ <sup>ゴ</sup>	ササエトンボ <sup>ゴ</sup>	<i>Stylogomphus suzukii</i>	オジロサナエ									
					節足動物	昆虫	トンボ <sup>ゴ</sup>	ササエトンボ <sup>ゴ</sup>	<i>Sieboldius albardae</i>	コオニヤンマ									
					節足動物	昆虫	トンボ <sup>ゴ</sup>	ササエトンボ <sup>ゴ</sup>	<i>Asiagomphus melaenops</i>	ヤマサナエ	11	0.0062	幼虫	—	—	27	N.D. (5.1)	27	—
					節足動物	昆虫	ヘビ <sup>トンボ</sup>	ヘビ <sup>トンボ</sup>	<i>Protohermes grandis</i>	ヘビトンボ									
					節足動物	軟甲	エビ <sup>ゴ</sup>	アメリカザリガニ	<i>Procambarus clarkii</i>	アメリカザリガニ	6	0.091	未成体/成体	—	—	66.9	4.9	62	—
					節足動物	軟甲	エビ <sup>ゴ</sup>	テナガ <sup>エビ</sup>	<i>Palaemon paucidens</i>	スジエビ	43	0.051	成体	—	—	31.2	2.2	29	—
					節足動物	軟甲	エビ <sup>ゴ</sup>	ヌマエビ <sup>ゴ</sup>	<i>Paratya improvisa</i>	ヌカエビ	107	0.023	未成体/成体	—	—	52.1	3.1	49	—
					節足動物	軟甲	エビ <sup>ゴ</sup>	モクス <sup>ガニ</sup>	<i>Eriocheir japonica</i>	モクスガニ	6	0.032	未成体	—	—	62.2	5.2	57	—
					軟体動物	腹足	盤足目	カワナ	<i>Semisulcospira libertina</i>	カワナ	30	0.017	成体	—	軟体部	38	N.D. (3.1)	38	—
					脊椎動物	硬骨魚	ウナギ	ウナギ	<i>Anguilla japonica</i>	ニホンウナギ	1	0.038	未成魚	—	—	31.3	4.3	27	—
					脊椎動物	硬骨魚	カサガ	カサガ	<i>Cottus reinii</i>	ウツセミカジカ	4	0.072	未成魚	—	—	53.5	3.5	50	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	59	0.36	未成魚	—	—	73.8	4.8	69	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Opsariichthys platypus</i>	オイカワ	15	0.011	未成魚	—	—	38	N.D. (4.8)	38	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Sarcocheilichthys variegatus variegatus</i>	カワヒガイ	2	0.017	未成魚/成魚	—	—	41.6	3.6	38	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Carassius auratus</i>	ギンブナ	1	0.039	成魚	—	—	32.5	2.5	30	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	ドジョウ	<i>Misgurnus anguillicaudatus</i>	ドジョウ	18	0.042	未成魚/成魚	—	—	15	N.D. (1.4)	15	—
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハゼ	<i>Rhinogobius fluviatilis</i>	オオヨシノボリ	25	0.095	成魚	—	—	36.6	2.6	34	—
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハゼ	<i>Rhinogobius nagoyae</i>	シマヨシノボリ									
					脊椎動物	硬骨魚	ナマズ	ナマズ	<i>Silurus asotus</i>	ナマズ	3	3.3	成魚	スジ <sup>エビ</sup> 、モクス <sup>ガニ</sup> 、魚類	内臓除去	101.3	7.3	94	0.99
					脊椎動物	両生	無尾	アマガエル	<i>Rana japonica</i>	ニホンアカガエル	4	0.019	成体	—	—	22	N.D. (2.8)	22	—
脊椎動物	両生	無尾	ツチガエル	<i>Glandirana rugosa</i>	ツチガエル														
脊椎動物	両生	無尾	アメリカアカガエル	<i>Lithobates catesbeianus</i>	ウシガエル	6	0.11	幼生 (オオツツヤシ)	—	—	430	30	400	—					
粗粒状有機物	—	—	—	—	—	—	0.23	—	—	—	193	13	180	—					

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓 (胃、腸) の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン (浮遊藻類) とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。

※6：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。